

まはばりふーるノらと

第四十四圖解説

まどらす市南三十五英里ニシテまはばりふーる村(Mahabalipur)ニ達スベシ、此附近三類ノ石殿アリ、其最モ有名ナルモノハ、らと(Rath)ト稱スル五個ノ石殿ニシテ、圖中ノ五殿即是ナリ、左方ヨリ數フレバ第四殿最モ大、長二十八英尺幅二十七英尺高二十四英尺あり、第三殿之ニ次グ、凡テ單體ノ花崗岩ヲ以テ刻鑿シ、外部ハ殆ト完成セルモ、殿内ハ完成ニ先チテ工事ヲ中止シタルモノモアリ、其彫刻年代ハ西洋紀元六世紀ヨリ七世紀ノ間ニ在リ、考古學者ハ、此建築ヲ以テ、佛教式及ピどらびだ式ノ兩楹間ニ位スルモノト信セリ、